

名古屋大学と「産学連携に関する協定」を締結します

名古屋鉄道株式会社は3月11日、国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学(以下、名古屋大学)と「産学連携に関する協定」を締結します。

これは、産業・文化・人材等のさまざまな交流・共創を実現しながら、名古屋・中部圏の発展と地域価値の向上に取り組むことで、世界から選ばれる「住んで幸せな」、「訪れて価値のある」名古屋・中部圏の実現を目指すためのものです。

協定書の締結にあたり、協定締結式を実施します。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 日 時

3月11日(火) 11時15分～

2. 場 所

名古屋大学東山キャンパス 豊田講堂3階第1会議室

3. 主な出席者

高崎 裕樹	名古屋鉄道株式会社	代表取締役社長
鈴木 武	名古屋鉄道株式会社	常務執行役員 経営戦略部長
安藤 直樹	名古屋鉄道株式会社	常務執行役員 地域活性化推進本部副本部長 兼 地域連携部長
葛谷 雅文	名古屋鉄道株式会社	名鉄病院 病院長
松尾 清一	東海国立大学機構	機構長
杉山 直	名古屋大学	総長
佐宗 章弘	名古屋大学	副総長、学術研究・産学官連携推進本部長

4. 式次第

- (1) 開式
- (2) あいさつ
- (3) 協定締結・写真撮影
- (4) 事業説明
- (5) 質疑応答
- (6) 閉式

5. 協定の主な内容

(1) 持続可能な地域公共交通システムの構築

中部圏各地域の交通課題解決に向けて、名古屋大学 COI-NEXT「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」※が有する先進地域モビリティシステムの研究開発の実績を生かし、AI オンデマンドや自動運転等の先進モビリティの検証・導入や、当社が推進するエリア版 MaaS「CentX」と連動したサービスを実装することにより、公共交通を中心とする次世代モビリティネットワークの構築を目指します。

※国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」の地域共創分野(本格型)で採択された拠点

(2) 地域課題の解決等を通じたまちづくり、地域活性化

ウェルビーイングな地域社会の実現に向けて、あいちデジタルヘルスプロジェクトの「一人暮らし高齢者向けの外出・交流支援」事業での研究実績を生かした地域住民の健康づくり推進のほか、「交通・観光・開発」三位一体となったまちづくりに取り組みます。

(3) 多様な人材の育成・交流および活用

これからの地域を担う人材輩出を目指し、実践データサイエンティスト育成プログラムや卓越大学院プログラム「ライフスタイル革命のための超学際移動イノベーション人材養成学位プログラム」を通じた産学連携による人材交流に取り組みます。

<連携により実現したい未来像>



本件は、名鉄グループ中期経営計画(2024年度～2026年度)の重点テーマに掲げる「魅力ある地域づくり・まちづくり」・「公共交通を中心とするモビリティネットワークの実現」・「人的資本の充実」の一環として取り組むものです。

以上